



# みらいん

わかばやし

「みらいん」は、  
震災からの復興に向けて  
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の  
今を結ぶ情報紙です。



## 今月のひと

浄土寺副住職、若松会代表  
二役をこなす若きリーダー

### 未来へつなげたい 荒浜の人を結ぶ拠点づくり

荒浜の浄土寺で副住職を勤めながら、荒浜出身の方を中心とした住民グループ「若松会」の代表も担う中澤良宣よしのさん。

高校までを荒浜で過ごし、大学進学と同時に地元を離れましたが、震災を機に、当時お勤めしていた東京のお寺から、実家である浄土寺の副住職として帰郷しました。その後、旧友との再会をきっかけに若松会に参加するようになり、昨春秋に会の三代目代表に就任しました。会では、宗派からの支援を取り付けるなど、人脈を生かした取り組みを行っています。お寺のお勤めではまだまだ学ばなければいけないことがたくさんあるという中澤さんですが、二つの役割を担うパワーの原点は、故郷を思う気持ちです。

「震災でバラバラになってしまった荒浜の方々が、若松会でもプレハブ仮設住宅でも、集まりをもって頑張っています。そのつながりを将来的にも大事にしていきたい」と中澤さん。今後人もつながり合う拠点としてお寺の役割が重要と考え、移転予定の本堂の場所を、荒浜の方が多く移転する地域に考えています。

2014  
3月



# 魅力ある若林の暮らしと地域の再生を願って

若林区の沿岸部には、豊かな自然とそれを支えてきた人々がいました。これからの沿岸部も、きっと市民に愛される地域になりますように！

震災から3年が経ちました。大きな悲しみの中で窮屈な生活環境に戸惑いながらも、不自由さを知恵と努力で乗り越えてきた皆さんに心からエールを送ります。今回は、東六郷地区と荒浜地区の各町内会長から、今後の地域再生に向けたお話をうかがいました。

皆さんに共通するのは、地域の方々に健康で笑顔のあふれる暮らしを送ってほしいという願いと、ふるさと若林の沿岸部が今まで以上に魅力ある地域として新しい姿を見せて欲しいという強い思いがあることでした。

## 荒浜地区

### 荒浜東町内会

大久保 勝彦 会長



荒浜の皆さんにとって大変な3年間でしたが、ほとんどの方々が元気に過ごせたのは幸いでした。これから、新しい生活が始まりますが、希望を持ち続けてがんばりたいですね。荒浜には住めなくなりましたが、荒浜がなくなったわけではありません。小学校の校舎も残ると聞いていますから、その活用や運営に荒浜住民が参加できると良いですね。

### 荒浜南町内会

佐藤 勸一 会長



町内会の仲間はバラバラの住まいになってしまいますが、ふるさと深沼への思いは共通だと信じます。豊かな自然の中で伸び伸び暮らしていましたから、新しい生活に疲れた時は深沼の浜の暮らしを思い出してください。また、若い人々には、深沼の良さを次世代へ伝えていって欲しいですね。海や松林、そこで採れた魚や植物、豊かな暮らしを。

### 荒浜北町内会

早坂 勝良 会長



荒浜の人たちは昔から助け合って生きてきました。仙台の東のはずれで、何をすることも自分たちで解決しなければいけなかったのですから。今回の震災後も、町内の皆さんと連絡を取り合い、安否確認をし、協力し合ってきました。新しい生活が始まれば住まいも遠くなるでしょうが、皆さんが集まれるような企画を立てた時には元気な顔を見せてください。

### 藤塚町内会

東海林 義一 会長



何もかも失ってしまった藤塚の集落ですが、生き残った皆さんで助け合いながら3年間過ごしてきました。仲の良かった町内会の方々がバラバラになってしまうことは大変残念ですが、今年には五柱神社の再建を予定しております。五柱神社を藤塚の新しいシンボルとして、皆さんが藤塚に集まるきっかけになればうれしいです。お祭りもやりたいですね。

### 井土町内会

菊地 完 会長



季節ごとに山菜やキノコが豊富に採れた松林でした。あの松林が流されるなんて誰も想像しなかったですね。戻りたくても不安で戻れない方もいますから、早く県道のかさ上げを進めてもらいたいです。安心して住める環境になれば、戻る人も増えると思います。井土地区の田んぼは今春から稲作が可能になります。風にそよぐ一面の緑を見に来てください。

## 東六郷地区

### 荒浜西町内会

安達 三男 会長



今年、荒浜小学校は開校140年を迎えて、記念の式典が開催されるようです。どのくらいの卒業生がいるのか想像できませんが、懐かしい顔がたくさん集まると良いですね。これから荒浜は新しい姿に変わっていくと思いますが、私たちを育ててくれたふるさととして、いつまでも皆さんに愛される土地であって欲しいです。是非、海水浴場の復活を願います。

### 荒浜新町町内会

大橋 公雄 会長



新町は荒浜の中では新しい町内でしたが、深沼出身の方も多く住んでいました。昔からの方も新しい方も異口同音に、荒浜の自然環境を自慢していましたね。それだけ住み良い環境だったので、他所の地域へ住むことに皆さん抵抗があるようですが、こればかりは仕方ありません。どうか、新しい環境に1日も早く慣れて、健康に留意していつまでもお元気で。

### 三本塚町内会

小野 吉信 会長



三本塚は昔から団結心の強い地域です。普段はおとなしい皆さんですが、いざという時には、一致団結して物事に臨んできました。震災後の厳しい生活を互いに助け合いながら乗り越えてきたのも、三本塚精神の成せる技だと思っています。これからは、地域の住民だけでなく都市部の方々も来てくれるように、三本塚の良さを発信していきましょう。

### 二木町内会

阿部 東悦 会長



神社や集会所は既に復旧しましたし、住民の皆さんもほぼ半数の約40世帯は戻っています。また、地域コミュニティを復活させようと、周辺町内会とも協議を進めています。戻られた住民の皆さんのためにも、地域が潤うような計画が必要です。来年には地下鉄が荒井まで来ますので、沿岸部の地域的メリットを生かして、新しい東六郷にしたいですね。

### 種次町内会

大友 文男 会長



種次町内会では、震災前の大体半分に当たる約50世帯が戻っていますが、いろんな事情から他の地域へ移転した方もいます。以前に比べるとさびしい気もしますが、この種次は昔から『自助、共助、公助』の精神で地域活性に取り組んできた土地柄です。これからの世代には、種次の良さである『伸び伸びした環境と地域を守る気持ち』を伝えていきたいです。



みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●1日(水・祝) 初日の出にご挨拶  
(深沼海岸)

最高気温が10℃弱まで上がったこの日、深沼海岸には、初日の出を拝もうと多くの方が訪れました。水平線から太陽が顔をのぞかせると歓声が上がリ、手を合わせる方の姿も見受けられました。

帰り道、深沼橋で熱心にシャッターを切る方の姿が。昨年3月号の表紙にご登場いただいた荒浜のアマチュアカメラマン佐藤豊さん



でした。  
暖かく穏やかな新年の幕開けとなりました。

●17日(金) ほれっ食べてみさい!  
(日辺グラウンド仮設住宅)



神戸市から支援に来たのは、KOBE豚餃サミットの一行でした。ほかほかと湯気を立てて、神戸の有名店自慢の豚餃が出来上がりました。食べてみれば、さすが本場の味です!

●21日(火) お人形でサッとお掃除  
(JR南小泉仮設住宅)



皆さんが集会所で楽しそうにつくっていたのは、毛糸をまとめたお人形さんでした。名前を聞くと「サッサドール」。なるほど、手軽にサッとお掃除ができちゃいますね。

●27日(月) 手づくりほっこりヘアサロン  
(沖野)

荒浜にお住まいだった方を中心とした住民グループ若松会の集会所はこの日、ブルーシートが敷かれて「簡易ヘアサロン」に変身しました。

「毎回おまかせして、流行りの髪型にしてもらってるんだよ」と、会の元代表早坂さん。

カットしているのは、美容師であり、書家でもある日野薫さんです。月に1度、1年以上継続



して訪れ、皆さんから「先生」と呼ばれています。カットの後は皆で片づけ、ヘアサロンからお茶飲みサロンへ早変わりしました。

●15日(水) ふるさとの味に感激!  
(荒井小学校用地仮設住宅)



仙台市出身で歌手の稲垣潤一さんが、テレビ番組の収録でやって来ました。幼い頃に遊びに来たという深沼海岸の清掃活動に参加した後、皆さんと食べたお雑煮に感激していました。

●22日(水) 一戸建てに住みたいなあ!  
(戸建復興公営住宅説明会)



サンビア仙台で戸建復興公営住宅の説明会が開催されました。ペットを飼っている方や複数台分の駐車場が必要な方など、皆さん真剣に説明を聞いていました。

●31日(金) 復興へ向かって、七郷中活動展示  
(青葉区・ニコプラザ仙台)



“子どもたちが「結ぶ」地域と未来”をテーマに「七郷中学校写真展」が催されました。会場には、生徒たちが制作した巨大壁画や、防災教育活動の様子などが展示されていました。

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

# まちの語り場

## 荒浜移転 まちづくり協議会

集団移転の早期実施と移転後の荒浜の地域コミュニティ再生を目的としています。

一月十日(金) 定例会議

内容

●今後のイベントについて検討

当日の様子



問い合わせ先  
代表 宋永薫 (問い合わせがある場合は直接定例会場においてください)  
定例会議  
第2・4金曜日19:00~  
サンビア2F 会議室4

## 荒浜再生を願う会

荒浜に戻って文化の再生を目指す住民有志が中心となって活動しています。

一月二十六日(日)

内容

●里浜ネットワーク設立総会参加

当日の様子



問い合わせ先  
代表 貴田喜一 090-8254-4270  
定例会議  
毎月第2日曜日14:00~  
深沼海岸旧バス停前 里海ロッジ

## 明日の三本塚を考える会

東六郷地区における農地と宅地の一体的な整備や住民主体のまちづくりを目指しています。

一月二十四日(金) 定例会議

内容

●現地再建の状況報告  
●学習会について

当日の様子



問い合わせ先  
代表 小野吉信 090-3122-4843  
会議、学習会は自由参加、随時開催

## 荒浜復興公営住宅 (戸建) 推進協議会

戸建の復興公営住宅を希望する方々の勉強会です。

二月十日(月) 定例会議

内容

●東松島市の災害公営住宅を勉強

当日の様子



問い合わせ先  
代表 渡辺勝江 (問い合わせがある場合は直接会場においてください)  
会合は随時開催  
荒井小学校用地仮設住宅集会所

※記載している内容は、各開催日現在の情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

## 読者から ひとこと

●体調を崩してしまいました。昨年自宅をリフォームして戻ったところから疲れがでてきたのかな。家族には迷惑をかけちゃうけど、この機会にゆっくり休ませてもらうかと思えます。健康になつて世話になった人にも恩返ししたいですね。  
若林区/Mさん

●東日本大震災の発生からもうすぐ三年。仮設住宅での生活も長期に及んでいます。何か新しいことを始めたいと思うのですが、住まいが落ち着かないとなかなか始められないものです。今年は平穩無事に過ごせれば、それで良いと思っています。  
太白区/Mさん

●毎日近所(和田)を散歩していて、今日は堀のシラサギを眺めていたところです。借り上げ民間賃貸住宅で妻が体調を崩し、和田に戻ったところ落ち着いてきました。息子は震災後に岡田へ移り、孫には子どもが産まれました。お互い甘えずに生活しています。この先は田子西へ移る予定です。  
宮城野区/渡邊汎さん





# 元銀行マンの

# 施療ボランティア

東日本大震災から丸三年。今、さまざまなかたちで支援が続いている方々がいます。支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

「あらなんだい、髪切ったの！」  
「さっぱりしたでしょ、あはははは（笑）」。宮城野区の仙台港背後地六号公園仮設住宅集会所に設けられた臨時の施療室で、弾んだ会話が交わされています。毎月第二、第四木曜日に開かれているカイロプラクティックの施療ボランティア。単身で活動している療術師飯田真志さんは、利用する住民の方々とすっきり気心が知れた間柄です。



ボランティアにかかる思いを語る飯田さん

人体が持つ自然治癒力を活性化して健康を取り戻すという「手技療

法」。飯田さんは利用者の腰や肩、股関節など体の部位に優しく手を当て、加齢や生活習慣などでずれしてしまった骨の位置を正常な状態に戻します。実際に見ていると、施療前は明らかにずれていた左右の骨盤の位置が、しばらく手を当てただけで修正されました。「力をかけることは全くありません。じっと、こうやってしかるべき場所にそっと手を当て続けるだけなんです」と飯田さん。

一月下旬。外から明るい日差しが差し込む午後の集会所には、一人、二人と利用者が訪れ、飯田さんの施療を心待ちにしている様子でした。二〇一三年四月から続けられている施療ボランティアは、女性を中心に二十歳代から八十歳代の幅広い年齢層の住民が利用しています。こちらの仮設住宅で活動する以前、七カ月にわたって東松島市内の仮設住宅でボ



体の部位にそっと手を当てる施療

青年区落合の自宅で「真心堂療術院」を営む飯田さんは、元銀行員です。過労で体調を崩してしまい、三十八年間勤めた職場を定年前に去りました。闘病生活の末、恩師の生き方と自分の体験を重ね合わせ、「病の苦しさを身を持って経験した私に、今度は逆に病に悩む方々の助けになれば」と一念発起。五十代半ばにして療術師を目指し、資格を取得しました。現在、宮城県療術師協会

の理事長、事務局長を務めています。「苦しんだ自分が、身につけた技術で今苦しんでいる人たちを助けたい」。療術師を志した気持ちと、被災地でボランティアを始めた気持ちとは同じです。

「今後は要望があれば、ほかの仮設住宅などでもボランティアをしていきたい。体の不調や悩みなどがある方々はまずは連絡いただければ対応したいです」と飯田さん。「皆さんから『おかげで体が楽になった』などという言葉をいただく、続けてきて良かったなあとつくづく思うんですよ」。

### 施療ボランティア

施療日：毎月第2・第4木曜日  
時間：9:30～17:00(施療時間は一人30分)  
会場：仙台港背後地6号公園仮設住宅集会所  
利用無料(施療を受ける方は、とっくりセーター、ジーンズはご遠慮ください)  
連絡先：090-6854-0516(飯田)  
※他の場所での施療を希望する方もご連絡ください

取材：齋藤大輝@石巻専修大学  
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。  
<http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/> より(地域SNS「ふらっと」ブログ)

## 情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

### 大震災と詩歌～被災圏からの発信 Part3

詩・俳句・短歌それぞれの表現を通して震災について考える集いです。第1部ではゲストの講話、第2部では「大震災と詩歌」をテーマに詩人、俳人、歌人が鼎談を行います。入場無料、要申込。

対象 定員180名 定員になり次第受付終了  
日時 3月21日(金・祝) 13:00～15:30  
場所 仙台文学館(青葉区北根2-7-1)  
申込方法 電話、FAX(氏名、住所、電話番号記入)  
申・問 022-271-3020、FAX022-271-3044 仙台文学館

### タクシーを利用して復興公営住宅整備予定地やその周辺を確認してみませんか

宮城県タクシー協会仙台地区総支部では、復興公営住宅入居希望者への支援事業として、仙台市内の自宅から復興公営住宅整備予定地(周辺確認含む)の往復を特別割引料金で案内します。

対象 仙台市の復興公営住宅整備予定地の現地確認を希望する方  
日時 送迎時間は10:00～17:00 ※前日まで要予約  
料金 特別割引料金(3割引)  
予約 仙台市内のタクシー会社36社で予約が可能です。詳しくはインターネットからご確認ください  
問 022-256-0356 宮城県タクシー協会仙台地区総支部  
<http://sentakyo.org>

### 津波で流出した写真などをお返しします

東日本大震災の津波被害地域(宮城野区・若林区)でのがれき処理作業中に回収された写真、アルバム、賞状など思い出の品を、1人でも多くの方の手元にお返しできるように展示し、所有者やご家族へお渡します。

対象 どなたでも入場できます  
日時 3月7日(金)～16日(日) 10:00～17:00  
場所 出花体育館(宮城野区出花1-13-7)  
主催 仙台市、震災復興ボランティア団体 おもいでかえる  
問 022-214-3109 仙台市消防局減災推進課

### 生活困りごとと、こころの健康相談会

生活の困りごとに関すること(震災後の困りごと、土地、相続、ローン返済、家庭内の問題など)に、司法書士が相談に応じます。また、健康に関すること(体調、眠れない、やる気が起きないなど)には、精神科医、保健師、心理士、精神保健福祉士が応じます。相談無料、秘密厳守。予約は不要です。

対象 仙台市内にお住まいの方、または通勤通学中の方  
日時 3月11日(火) 10:00～17:00(受付9:45～16:00)  
場所 せんだいメディアテーク7階会議室 ab  
問 022-265-2191  
仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぼーと仙台)

### 支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
みんなで作って食べよう	泉区のみなし仮設にお住まいの方	3月7日(金)	10:00～13:00	黒松市民センター	みんなで料理しながら楽しい時間を過ごしましょう	要(電話)	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
なつかしの音楽・名曲クラシック	仙台市内のみなし仮設にお住まいの方	3月8日(土)	10:00～12:00	仙台市中央市民センター	みんなで懐かしい音楽を鑑賞しましょう	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
ほのぼの中央サロン	太白区内のみなし仮設にお住まいの方	3月8日(土)	10:00～12:00	太白区中央市民センター	わかさ生活スタッフによる「目の知識と目の体操」	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
木町サロン	木町地区にお住まいの方	3月15日(土)	13:00～15:00	木町通市民センター	わかさ生活スタッフによる「目の知識と目の体操」	要(電話)	支えあいセンター あおば 022-217-7234
みやふくde和むちゃ	宮城県沿岸部・福島県から移転し若林区にお住まいの方	3月27日(木)	10:00～12:00	若林区中央市民センター別棟	レクリエーションダンスでリフレッシュ!	要(電話)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

### 健康相談などのお知らせ

電話：022-282-1111(若林区家庭健康課・障害高齢課)

相談名	時	時間	会場	内容	担当	問い合わせ
母と子の健康相談	3月7日(金)☆ 4月4日(金)	9:30～10:30	六郷保健センター	育児の心配や母と子の健康についての相談	保健師・栄養士 ☆の日は歯科衛生士もおります	家庭健康課 内線6775
	3月11日(火) 4月8日(火)☆	9:30～10:30	七郷保健センター			
	3月28日(金)	13:30～14:30	若林区役所3階			
子どものこころの相談室	3月25日(火)	午後・予約制	若林区役所3階	震災後の子どものこころの健康に関する相談(要予約)	臨床心理士、保健師など	
こころの健康相談	3月10日(月) 3月20日(木)	13:30～16:00	若林区役所3階	こころの健康に関する相談(要予約)	精神科医師、精神保健福祉相談員、保健師など	障害高齢課 内線6752
震災こころの相談	随時(土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口など	震災によるストレスやこころの相談	保健師など	障害高齢課 内線6307
高齢者総合相談	随時(土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口など	高齢者の健康や介護・福祉の相談	保健師など	障害高齢課 内線6742
認知症高齢者の家族交流会と介護教室	3月7日(金)	13:30～15:00	若林区役所3階健康教室	認知症の方を介護している家族の交流会	保健師など	



徳照寺 住職  
佐藤 和丸

幼児は、昨日迄できなかったことが今日では  
さるやうになります。私のやうな高齢者にと  
もなればこの逆で、今日やっていることが明日に  
はやれなくなる可能性が高いつてわけです。

人の名前がなかなか憶ひ出せなくなり、  
毛と云ふ毛はすべて白くなりやがて抜け落ちて、  
歯茎は痩せる一方なのに肉体は肥え、皮膚はた  
るみ皺が寄り、乾燥して痒くなり、異性への関  
心は燃える一方なのに性機能は衰へ（嘘！）目は  
かすみ聴力も落ち、排尿時間も途切れて長くな  
り、公衆便所では後続の人に遠慮して大使用に  
入るしまつ。人との会話では同じことを幾度も  
繰り返して、食事の度に多量の薬を服用し、自  
分にとって大切な品物など家族にさへ何の意味  
もないのを知りつつも廃棄処分できずに家の到  
る処に山積みにしたまふ。

でも、これってすべて人生初めてのことが毎  
日新たに勃発するわけで、考へてみれば初体験  
の喜びにならなくちゃ勿体無いことですよ。

私にはもうひとつの喜びがあります。それは  
仏陀の教への了解が加齢と共に深くなつて行く  
と云ふことです。死ぬ迄この勉強ができるってこ  
とです。さあ、ご一緒に学び合ひませぬか。

佐藤和丸(さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

クロスワードパズル

出題  
石田竹久

こたえ A B C D E

1	2	3	4	5	6
7			8		9
			10	11	
12		13			14
		15	16		17
18	19			20	
21					

タテのカギ

- ①仙台市内の桜の3大名所といえば、榴岡公園、三神峯公園と〇〇公園
- ②大河原町から柴田町へ約8 kmにわたる桜並木は、一目〇〇〇〇桜
- ③石や岩の多い波打ち際のこと
- ④3月21～23日、登米市のとよま観光物産センターで、「春のはつと〇〇〇村」が開催されます
- ⑤主語、述語などを含む書き言葉
- ⑥刺身に添えられる野菜や海草など
- ⑦辞表の内容の定番といえば、「一身上の〇〇〇により…」
- ⑧〇〇〇〇湾に浮かぶ浦戸諸島の朴島は、春になると一面に菜の花が咲くことで知られます
- ⑨俗に、人生は山あり〇〇あり
- ⑩あざらは、メヌケなどのあらと〇〇〇〇の古漬けを酒粕で煮る郷土料理
- ⑪ヨーロッパで広く使われている通貨
- ⑫絵画などを入れて飾るための枠
- ⑬文化やスポーツなどの面で仙台市に貢献した個人、団体に贈られる「賛辞の〇〇」。昨年は楽天イーグルスに贈られ話題に

ヨコのカギ

- ①俗に〇〇〇タレントといわれる人は、親もタレント
- ②短い4脚の食卓といえば、〇〇〇台
- ③この春に学校を卒業した人
- ④仙台市の焼き鳥店の店主が、戦後間もなく提供したのが「牛〇〇焼き」の始まりらしい
- ⑤楽天イーグルスにドラフト1位で入団、新エースの期待がかかる〇〇〇裕樹投手
- ⑥世界最大のエイの呼び名。頭に耳のような一對のヒレがあるのが特徴
- ⑦春、学校では、まず〇〇〇〇〇〇式を迎えます。小中高で、新品のランドセル、制服などが初々しい
- ⑧食べ慣れていて味の良しあしが分かる人ほど、〇〇が肥えています
- ⑨チームのレベルはさまざま。空き地でも市民球場でも〇〇野球は盛んです
- ⑩超高層ビルのこと。仙台市でも、仙台トラストタワーなどいくつかは当てはまるでしょう

前回のこたえ

A ユ B タ C ン D ポ

でした。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集後記

ひとり暮らしの高齢者が増えている、って言われて随分経ちますが、そろそろ、その状態が普通で一般的なことなのだよ、とはならないものでしょうか。多分、もうすぐ、そちらの領域です。(きうち)

3年の間に赤ちゃんは、寝返りをうって、ハイハイをして、立ち歩いて、歩いて、言葉を覚えて、お話をしで…、たくさんのことを吸収して成長します。あの日から3年ですね。(佐藤)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部  
TEL：022-390-5755  
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp